

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 山本 眞 輔
 幹事 吉田 玄
 会報委員長 池 森 由 幸

No. 25

率先しよう

LEAD THE WAY

2006~2007年度 RI会長 ウィリアム(ビル)B.ボイド

きょうの例会

第1166回 平成19年 1月23日(火)
 友愛の日

先週の記録

第1165回 平成19年 1月16日(火) 曇

◆“奉仕の理想”

◆ビジター紹介 名古屋東山RC 近藤 俊彦 君
 名古屋東山RC 平下 三郎 君
 ◆ゲスト紹介 尾張大國霊神社 禰宜 山脇 敏夫 様
 米山奨学生 楊 羽 君
 池森由幸君ゲスト 平手 麻里 様

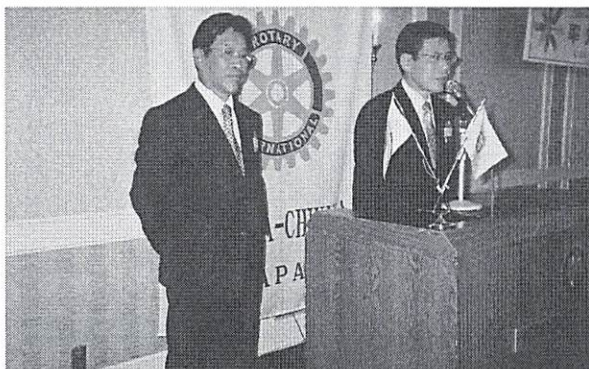
◆出席報告

会員 59 (57) 名 出席 49名
 出席率 85.96 %
 前々回 12月26日 (修正出席率) 94.74%

吉田幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので理事役員の方はそのままお残り下さい。
2. 残念なお知らせですが、昨年6月に退会されました鷺野義明様がお亡くなりになられ本日通夜、明日お葬儀で自由ヶ丘愛昇殿となっております。
3. ロータリーの友とガバナー月信が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

◆名古屋東山RC 近藤俊彦・平下三郎君ご挨拶



皆様今日は。日頃は私共RCが大変お世話になっており感謝申し上げます。

さて、ひな祭りの3月3日に創立10周年記念式典を

開催する事となり、会長・幹事様にご出席賜りたく、ご案内をお持ち致しました。

今後とも宜しくお願い致します。

山本会長挨拶

平成19年の松も明け全てが本格的に始動を始めました。相撲は相変わらず朝青龍の独走のようです。一日でも早く日本人の横綱をと思うのは私の狭量でしょうか?ともあれ平穩に新しい年がスタートしたことは同慶のいたりです。

本日のビジターは名古屋東山RC 近藤 俊彦君、同 平下 三郎君、です。

東山RC創立10周年、おめでとうございます。

ゲストは尾張大國霊神社 禰宜 山脇 敏夫様、米山奨学生 楊 羽君、池森君のゲスト平手麻里さんです。どうぞゆっくりお寛ぎ下さい。山脇様には後ほどお話をさせていただきます。

さて最近の新聞のコラムに「好きなもの」というテーマで建築家の黒川記章先生が一文を寄せられています。黒川先生には時々お目にかかり高説など拝聴する機会もありますが今日はこのコラムを紹介します。

好きなものとして (1) 僕以外の誰かが設計した建築 (2) サプリメントなど、薬の能書 (3) パロック の3点が書かれています。この中で私は特に(1)に大変興味を感じました。「いろいろ欠点が見えて面白い。自分だったら、こうすると考えはじめると興味が尽きない。いわゆる評論家の住んでいる家も興味の対象だが、こちらは警戒されていて、おいそれとは見せてもらえない。私の知るかぎり、建築評論家の住む家に大した家がないのも事実である。最近では、自分の終りの家は、若手の建築家に設計してもらい、文句を言いながら暮らすのもよいかと思う。」この文を読んで皆さんの感想はいかがででしょうか、私には黒川先生の強烈な自己アピール、強烈な自信を感じました。建築家や建築評論家を対象にした文章ではなく自分の専門、自分の職業を究極まですすめ、さらに新しいシチュエーションに挑戦して行こうという現代最先端の芸術家としての誇りと意思を読み取れます。いわゆる「発想の転換」が我々の社会、生活にいかに大事かを独特のアイロニーをもって語られています。愛知万博跡に設置されるモニュメントのデザインも楽し

みです。今はロシアのサッカー場の建設に携わっておられるとかで新年にはお目にかかっておりませんが元気に活躍中とのこと。 (2) サプリメントなど、葉の能書 (3) パロック については機会があれば紹介したいと思っています。

自分の力と責任を社会にどのように還元していくかは各々の人で異なるのは当然ですが自分にしか出来ない事、自分だから出来る事を見極め、次々と実行していくと言う姿勢を大先輩から学んでいます。これはロータリークラブの社会奉仕、職業奉仕の根幹にも繋がることだと思います。あらためてRCのスタンダードを確認し後半の任期を任うたいと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

猪年の年頭にあたりいささか所感を申し上げ挨拶いたします。

◆講演 “今年のはだか祭りを控えて”

尾張大國霊神社 補宜 山脇 敏夫様
(紹介 吉田 玄君)



尾張の冬は寒い。この地方では「儼追」が終わらなければ春は来ないと言われている。

昔、なおい捕りの時刻になると強い西風が吹くと言い、それを「儼追風」と呼んで来た。現在でも神男が裸になって飛び出す頃になると一陣の「儼追風」が不思議にも吹く。

現在のように暖房の行き届いた生活をしていても、やはり春は待ち遠しい季節であるが、その昔は、もっと

もっと切実であったろう。春は万物の芽吹く季節である。

幸福とは、昭和の初めぐらいまでは有史以来一貫して米のとれることであった。豊穡と言う事であった。豊穡である事が国の安泰であり、ムラの安泰であり、家族の安泰であり、個人の幸せであった。春は豊穡への期待の時であった。儼追神事の起源とされる神護景雲元年の称徳天皇の勅には、「天下泰平、風雨順時、五穀成熟、兆民快樂」と、その祈願を端的に記されている。厳しい伊吹風にさらされ、村々家々でひっそりと暮らしていた村人が望の正月をむかえるに当たり「気枯れ」(穢)を被おうと魂を揺り動かす祭を考えた事であったろう。

古代より日本人のもった罪、穢とは共生をくつがえす行為のことであった。神社の信仰は個人の祈願も当然であるが、地域共同体の共有の安泰を願うことが本来の姿であり、公共性の極めて強いものである。なにも国府宮に限った事ではない。夫々のお宮が、夫々のムラの春を呼ぶ祭を行って来たはずである。

国府宮では永く「儼追」と呼ばれ、いまでは「はだか祭」として伝えられている。

春への、共生への胎動であった。

◆1月度理事役員会議事録

- 1) 職場例会 (3月20日) の件。
名古屋ボストン美術館
- 2) 春季家族会 (4月7日) の件。
3日 (火) 変更にて伊勢神宮
- 3) 次年度委員会統合の件。
広報・会報委員会 (プログラム・雑誌・IT)
社会奉仕委員会 (環境保全)
国際奉仕委員会 (ロータリー財団・米山奨学)
- 4) 米山奨学生 (楊君) の件。

訂正のお知らせ

先週の会報で村瀬和彦君の会社名・住所を間違えて掲載致しましたのでお知らせ申し上げます。
海陽商事(株) 名東区高社 2-137

ニコボックス

名古屋東山RC

近藤 俊彦君 平下 三郎君

おかげ様で10周年を迎えることが出来ました 今後共ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます

池森 由幸

今春地区で矯正歯科を開業予定の平手先生をお連れしました よろしくお願ひします

山本 眞輔

尾張大國霊神社 山脇敏夫様をお迎えして 今日の講演宜しくお願ひ致します

堀江 宏輝

ホームクラブ御無沙汰しました

油田 弘佑 足立 一郎

在田 忠之 浅井 誠寿

二村 聡 萩原 喜代子

服部 正夫 林 正路

伊藤 健文 伊豫田 博明

櫻尾 富二 加藤 重雄

川端 圭 川浦 忠

小林 明 紺矢 寛朗

小杉 啓彰 小山 雅弘

牧野 登志子 松居 敬二

宮尾 紘司 三好 親

森 幸一 村瀬 和彦

西川 豊長 岡田 雅俊

奥村 彰司 佐野 寛

澤田 淳治 鈴木 正男

鈴木 理之 舎人 経昭

和田 正敏 山本 英次

吉田 節美 吉田 玄

本日の卓話を楽しみにしています

後藤 滋巳 柵木 充明

谷口 優

夫人誕生日祝い

合計

71,000円

次回例会

平成19年 2月 1日(木)

節分例会

午後 5時30分

於 城山八幡宮